



出雲市 YouTube 公式チャンネル



住警器マン

はじめまして。
私は、住警器マン!!
いずもりくんと一緒に
出演しているから
ぜひ動画を見て欲しい。

これに出演してるよ



出雲市消防本部
PR動画近日公開!!

1:35 / 3:40

消防車・救急車のサイレンについて

消防車がサイレンを鳴らして走行していると火災かな?と思う方が多いと思いますが、サイレンにも様々なパターンがあり、災害の種別によって使い分けています。

救助・救急支援
警戒等の
サイレン



「ウー!ウー!ウー!」

「救助」「救急支援」「警戒」などの火災以外の災害現場に行く際は、「ウー!ウー!ウー!」というサイレンだけを鳴らして走行します。

「ウー!カン!カン!カン!」



火災時の
サイレン

消防車は、火災現場へ向かう際は、「ウー!」というサイレンに加えて、「カン!カン!カン!」という鐘の音を鳴らして走行しています。また、乾燥時や強風時など火災が発生しやすい気象状況の時に、注意喚起する際は「カンカン!カンカン!」と、鐘の音だけを鳴らして走行しています。この音を聞いたら今一度火の元の確認を!

救急車の
サイレン

救急車のサイレンと言えば

「ピーポーピーポー」



しかし、交差点に進入する際などは、多くの人々に存在を知らせ、注意喚起するために、消防車と同じ「ウーウー!!」というサイレンを「ピーポーピーポー」と同時に鳴らします。

お尋ねは 代表 (電話 21-2119) (FAX21-8241)

- 消防総務課 (電話 21-6920)
- 予防課 (電話 21-6921)
- 警防課 (電話 21-6923)
- 指令課 (電話 21-6924)
- 出雲消防署 (電話 21-6926)
- 佐田分署 (電話 84-0915)
- 出雲西消防署 (電話 43-8119)
- 多伎分署 (電話 86-2149)
- 平田消防署 (電話 63-5519)
- 大社消防署 (電話 53-2373)
- 斐川消防署 (電話 72-0800)

災害案内(電話 23-0119) 出雲市消防本部ホームページ <http://www.izumo119.or.jp/>



ひまわり

No.31

消防広報 令和2年(2020)8月20日

編集・発行 出雲市消防本部 消防総務課

TEL: (0853)21-2119(代)

e-mail:soumu@izumo119.or.jp

令和2年度全国統一防火標語

その火事を
防ぐあなたに
金メダル



大社消防署 新庁舎竣工

令和2年7月6日業務開始

大社消防署旧庁舎は建築から50年以上が経過して老朽化が進んだため、新庁舎を建設し、このほど完成しました。



※住所・連絡先は
今までと同じです

庁舎
概要

敷地面積: 2,905㎡
庁舎棟
鉄骨造 2階建
延面積 990.84㎡

住所
連絡先

〒699-0711
出雲市大社町杵築南1395番地
電話番号 53-2373
FAX番号 53-3796



新庁舎の
特色

地震、水害、原子力災害等で消防本部の庁舎が被災し、119番通報を受け付けることが出来なくなったとき、新しい大社消防署で119番通報を受信出来るようにしました。

01

非常電源(発電設備等)や主要な電気通信設備を2階へ設置することにより、水害にも強い庁舎としました。

02

女性職員の配置を可能にするため、女性用仮眠室等の環境を整えました。

03



1階



1 玄関ホール



2 事務室



3 防火衣着装室

2階



4 仮眠室



5 会議室

5 会議室

新庁舎各室の紹介

1 玄関ホール

玄関ホールは庁舎東側の堀川沿いになっています。玄関横には身体障がい者の駐車場、駐輪場があり、来署しやすくなっています。

2 事務室

事務スペースとお客様対応スペースをまとめ、コンパクトで便利につくりになっています。消防救急無線機を設置し、災害の状況を確認できるようにしています。

3 防火衣着装室

庁舎の中央に位置し、最短距離で消防車両に乗り込み、迅速に災害現場に向かい出場でできるよう工夫しています。

4 仮眠室

個室に畳ベッドを設置し、隊員が休息をとる部屋としています。各部屋にスピーカーを設け、仮眠中でも指令があれば直ちに出勤します。

会議室は2階に設け、普段は救急講習や会議などを行います。またエレベーターを完備し、車いすや足が不自由な方でも利用していただけます。大規模災害発生時には、119番通報の受信など本部庁舎の代替施設となります。

新車両の紹介



3月に大社消防署の水槽付消防ポンプ自動車を更新しました。



車両諸元
車両総重量10.62t 排気量5,190cc
全長6.66m×全幅2.37m×高さ2.96m

特徴

この車両は1,500ℓの水を積載しています。自動泡混合システムを装備していますので、消火薬剤を混合した水を放水することができます。これにより放水の量を従来より少なくすることができ、効率的な消火活動が可能となります。さらに、救助器具などの各種資器材を積載し、この1台で幅広い災害に対応できるようになりました。



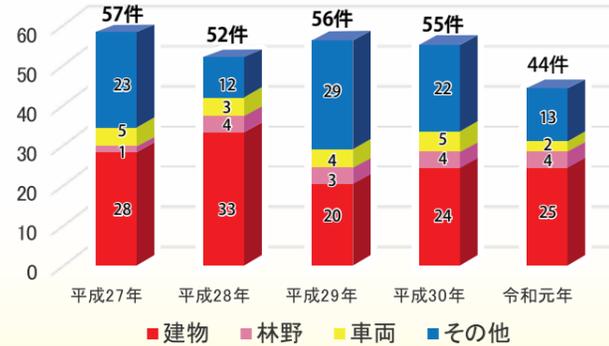
小さいお子さんがおられるご家庭は土日に消防署の前を通ってみたいかがでしょうか？土日は車両整備をしていることが多く、車庫から出ている消防車が見られるかも！職員がいれば気軽に声をかけてください。



火災・救急統計(過去5年間)

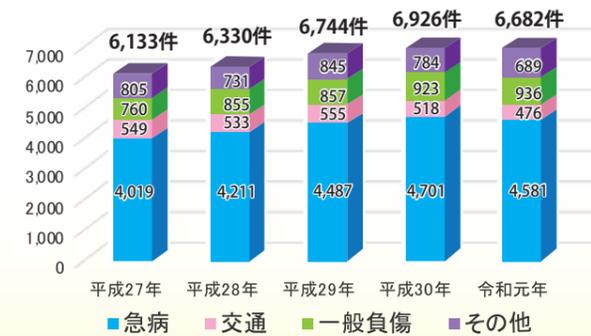


火災件数



出雲市の火災件数は近年横ばい状態で推移していましたが、令和元年(2019)は44件で、前年の55件に比べ11件減少しました。全国的に見ても火災は年々減少傾向にあります。出雲市で発生した火災の原因は、「野焼き(火入れ)の拡大」によるものが12件と最も多く発生しています。ゴミの焼却(野焼き)は原則法律で禁止されています。詳しくは出雲市消防本部ホームページのTOPICS「ゴミの野焼きは法律で禁止されています」をご覧ください。

救急件数



出雲市の救急件数は年々増加傾向でしたが、令和元年(2019)は6,682件で、前年に比べ244件減少しました。全国的には、緩やかな増加傾向が続いています。種別毎にみると、「急病」が約68%を占め、次いで歩行中の転倒などの「一般負傷」、次に「交通事故」の順となっています。また、搬送者の重症度は、軽症が全体の約42%を占めています。救急車は、緊急時に要請する車ですので、適正な利用についてご理解とご協力をお願いします。

注意!花火やバーベキューの事故!!



花火は 次のルールを守って 安全に 楽しみましょう

行楽シーズンであるこの時期は、花火やバーベキューなどで火を使うことが多くなります。そんな中、誤った使用方法により毎年のように痛ましい事故が発生しています。

風の強い日は行わないこと

近くに燃えやすいものがない、広い場所で行うこと

人や家に向けないこと

水の入ったバケツを用意し、遊び終わったら完全に消火すること

子ども達だけで遊ばないこと

バーベキューではカセットコンロ、着火剤、炭の処理に注意しましょう!

カセットコンロ

カセットコンロに装着したカセットボンベが爆発する事故が発生しています。カセットボンベは、過剰に加熱されると爆発につながりますので、コンロを覆うような大きな鍋や鉄板の使用、2つ以上のコンロを連結して使用しないようにしましょう。

着火剤

着火剤は、バーベキューの火おこしの際によく使われていますが、揮発性・燃焼性が高いため注意が必要です。火勢を強めようと継ぎ足しを行い、着衣着火した事例も報告されていますので、絶対にしないでください。

炭の処理

炭は、一度着火すると徐々に温度が上昇し約800℃まで達するため、水をかけただけでは消火できません。水の中に長時間浸ける、専用の炭壺に入れるなどの適正な処理をし、完全に消火するまで、その場を離れないでください。また、枯葉など燃えやすいものの近くに放置するのは絶対にやめましょう。